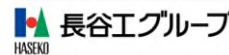


PRESS RELEASE

住まいと暮らしの
創造企業グループ



2022年4月18日

長谷工グループ 2025年日本国際博覧会 テーマ事業「いのちを拓げる」への協賛について

長谷工グループ（代表企業：㈱長谷工コーポレーション、本社：東京都港区 社長：池上 一夫以下、「長谷工」という）は、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の重要な取り組みであるテーマ事業「シグネチャーパビリオン(※1)」の、石黒 浩テーマ事業プロデューサー（いのちを拓げる）がつくる「いのちの未来」館に、プラチナパートナーとして協賛することをお知らせします。

長谷工は、2025年大阪・夢洲での大阪・関西万博開催に向け、石黒プロデューサーの取り組まれている最先端のIT・ロボット技術を基にした人間と社会の新たな在り方「いのちの未来」を今後3年かけて他の協賛企業とともに共創し、目指すべき人間とロボットが共存する未来社会の住環境・住まいを「シグネチャーパビリオン」を通じて世界に発信していきます。

又、本協賛を通じてグループ全役職員のモチベーションアップにつなげ、更なる企業価値向上に努めるとともに2037年に創業100周年を向かえる長谷工のレガシーとなるよう本博覧会の成功に向け、グループをあげて取り組んでいきます。

◇パビリオン名 : いのちの未来

◇テーマ事業名 : 「いのちを拓げる」

◇テーマ事業プロデューサー :



石黒 浩（大阪大学教授、ATR 石黒浩特別研究所客員所長）

◇パートナークラス : プラチナパートナー

(※) 「シグネチャーパビリオン」とは

テーマ事業は大阪・関西万博を象徴・代表する事業であり、8人の専門家が作るパビリオンは、テーマをそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」でもあることから、「シグネチャーパビリオン」と名付けました。8名のテーマ事業プロデューサーが大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を、それぞれ固有の観点から解釈、展開し、未来に生きる人々に繋ぎ渡すパビリオンを建設します。